

平成30年度 深町小 スクールプランダイジェスト版

【学力向上に関する取組】

（授業改善①）

「わかる授業づくり」の5つのポイントを基にした授業づくりを徹底

- ・児童質問紙55「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだか」について肯定的に回答した児童の割合70%以上。

（授業改善②）

児童相互のコミュニケーション能力の育成の徹底

- ・児童質問紙56「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」について肯定的な回答をした児童80%以上。

（補充学習）

- ・独自アンケート「チャレンジタイムを時間通りに取組んでいるか」「自分自身の学習の課題がわかり克服しようとしているか」に肯定的に回答した児童の割合60%以上。

分かりやすい授業づくりの徹底

- ・児童質問紙33「算数の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」について、肯定的な回答をした児童の割合75%以上。
- ・児童質問紙42「理科の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」について肯定的な回答をした児童の割合75%

（家庭学習）

家庭学習の取り組み方を全職員で共通理解し、学力向上推進委員会を中心に深町小方式を作成し、全家庭に配布・協力の徹底

- ・児童質問紙14「学校の授業時間以外に学習をどれくらいしているか」について肯定的に回答した児童55%
- ・児童質問紙11「自分で計画を立てて勉強しているか」について肯定的に回答した児童60%

【心の育ちに関する取組】

（授業改善①（特別活動））

- 児童質問紙1「自分にはよいところがあると思う」について肯定的に回答した児童の割合85%
- 児童質問紙5「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について肯定的に回答した児童の割合90%

（授業改善②（特別の教科道徳科））

- 児童質問紙3「将来の夢や目標をもっているか」について肯定的に回答した児童の割合75%

【学校組織と研修に関する取組】

（授業力向上）

- ・授業改善シートを活用して学力・体力向上に向けての授業改善に取り組んだか」について肯定的な回答をした職員80%以上
- ・外国語科・外国語活動における深町小プランの作成を行うことができたかについて肯定的な回答をした教員の割合75%以上

（業務改善）

授業時数の標準化

- ・専科指導を実施（理科）
- ・少人数指導を実施（国語 算数）

関係機関との連携

- ・専門機関の積極的な活用（特別支援に関係する機関、小学校応援団の活用 キャリア関係他）